

初の共作優秀賞

北海道デジタル出版推進協会（札幌市）主催の第1回北海道デジタル絵本コンテストで、函館在住の三谷乃亜さん（25）が文章、ねこのうみちひろさん（33）とともにペンネーム「ねこ」が絵を担当した作品「不思議なスープレシピ」が優秀賞を受賞した。港の倉庫群前で開かれるクリスマスイベントで、大きな猫がいる不思議な屋台に迷い込んだ少年の心温まる物語だ。（今井正一）

「細部何回も読んで」

道内でデジタル出版やコ 大きな猫のおじさんと出会うコンテツの普及推進を図る。着想を得たは「たてく回協会が昨年9月から今年 リスマスファンタジーの要1月にかけて、創作絵本を 案も随所に見られる。募集、流水などの自然や動 コンテツの応募を決め物たち、郷土料理といった した後、最初にストーリーが道内の魅力を表現した作品 仕上がった。「物語はあま22点の応募があり、最優秀 り書かないので苦手」とい賞1点、優秀賞2点、特別 う三谷さんだが、ねこのうみちひろさんが選ばれた。

ねこのうみちひろさんは 筋は変わっていないが、子2017年に絵本「おぼけ ども向けの扱いをせずに三カボチャの恋」（文芸社 谷さんらしさを出してもらい）を出版した経験があった」とし、雰囲気も変わり、エッセーや詩を書いて ったという。絵は少年のいる友人の三谷さんと初の 現実世界をモノクローム共作。受賞作は、巨大なツ で、猫のいるファンタジリーが飾られたイベント会 の世界をカラーで意識して場で迷子になった少年が真 表現。当初の締め切りが1っ赤な箱形のスープレシピで 月延長されたこともあ

北海道デジタル絵本コンテスト

文章・三谷乃亜さん 絵・ねこのうみちひろさん



北海道デジタル絵本コンテストで優秀賞を受賞したねこのうみちひろさん（左）と三谷さん

り、修正や作品の充実に力を注いで完成させた。

2月に受賞の発表があり、喜びを分かち合った。三谷さんは「原案を見せてもらったときからイメージ以上で（文章の世界に絵が付いて）うれしかった」とし、ねこのうみちひろさんも「自分には書けない、回でも読んでもらいたい」と話している。

想を練っているという。各受賞作品は札幌市電子図書館（<https://web.library.jp/sapporo/80001/top/>）で登録して閲覧できるほか、同協会は道内各地の電子図書館にもデータの寄贈を予定する。ねこのうみちひろさんは「大人の方も楽しめる作品。猫好きの人にお勧めしたい。自宅で楽しんでほしい」とし、三谷さんは「イラストの細部のこだわりや白黒、カラーのコントラストを何回でも読んでもらいたい」と話している。

2022年4月30日(土)
函館新聞